

口頭⑥

オレンジカフェにおける管理栄養士の取り組み

○神津 有花（ヘルスケア事業部）

ヘルスケア事業部では今年度、オレンジカフェ（中野区内・埼玉行田店）やデイケアセミナー・社会福祉協議会主催ボランティアセミナー（埼玉行田店）等、地域住民の方と話ができる場に多く参加してきた。

今回は、7月より埼玉行田店で開催されているオレンジカフェでの取り組みについて紹介する。

オレンジカフェとは、認知症の方やその家族同士だけでなく、地域住民や専門職の方々等、誰もが気軽に参加できる「集いの場」である。気軽にお茶を飲みながら、認知症に関する相談だけでなく、地域の高齢者が抱えている問題等を医療や介護の専門職に相談ができることから、地域住民との交流の場になっている。

各回、テーマが決まっており、管理栄養士はテーマに合わせた内容の資料作成やサンプル手配を行っている。また、私達が話すことで情報発信だけでなく、参加者が意見交換や談笑するきっかけづくりの役目を果たしている。

管理栄養士は、食事と栄養に関することであれば、医療現場のみならず、様々な分野で力を発揮することができる。今後は、セミナー等の活動内容を報告し、各店と連携していくと共に、薬局外にも目を向け、事業の発展を目指していきたい。